

令和7年度第2回鎌倉市児童発達支援センターあおぞら園指定管理者選定委員会議事概要

- 日時 令和7年（2025年）7月7日（月） 13時40分から14時50分まで
- 場所 鎌倉市児童発達支援センターあおぞら園
- 出席者 委員：岸川委員、大西委員、初崎委員、堀之内委員、國分委員 5名出席
事務局：こどもみらい部 高木次長（こども支援課担当課長）、
発達支援室 貴田室長、武浪補佐、小川係長、小松田係長、川村職員

1 議題

（1）申請書類の審査について

事務局から、募集等の実施状況及び応募結果、並びに書類審査の結果について、次のとおり報告し、了承された。

ア 募集に対し、1団体から応募があった。

イ 募集の周知にあたっては、広報かまくら、市ホームページへの掲載の他、障害福祉情報サービス神奈川への掲載を行った。現地説明会については、応募のあった団体とは別に1団体申込みがあり、令和7年（2025年）6月9日に実施した。

ウ 応募者1団体について、募集要項に定める応募資格を満たしていることを確認した。

エ 第1回の選定委員会の際に、委員からご意見をいただいた応募団体名の公開について、本件選定は「鎌倉市プロポーザル方式等の実施に関するガイドライン」に沿って公募型プロポーザル方式で行っていることから、同ガイドラインで定めるとおり、応募者名は非公開での審査となる。

（2）応募団体の財務状況について

大西副委員長から、次の点に言及があり、今後5年間、あおぞら園の指定管理を担う場合も、問題ない財務状況の法人であるとの見解をいただいた。

ア 過去3年間、経常収支が黒字である。事業規模が90億円超と大きく、部門間で差はあるものの、法人全体としてプラスの状況と判断できる。

イ 土地、建物といった資産があり、預金を含め、借入金との均衡を図れている。

ウ 令和8年度から令和12年度までの指定管理の収支計画において、収入を一定にしているため、後年は単年度で赤字という計画になっているが、5年間の総計としては黒字を見込んでおり、内容も妥当と見える。

（3）質問回答書の内容について

事務局から、1団体から質問があり、既にホームページ上で回答していること、質問内容については、児童発達支援センターの中核的な機能の実施に関し、地域の発達支援に関する入口としての相談機能について等の質問があったことを報告し、了承された。

（4）公開ヒアリングの実施方法について

ア 当日のスケジュール、傍聴者について

事務局から、第1回選定委員会の審議内容と、応募団体数が確定したことを踏まえ、次のとおり当日のスケジュールを報告し、了承された。

（ア）公開ヒアリングを、応募のあった1団体に対し実施。

（イ）プレゼンテーション及びヒアリングは各20分、計40分で行う。

(ウ) プレゼンテーション及びヒアリング終了後、協議、採点等を行い、優先交渉権者を選定。

(エ) 傍聴者は、一般5名、応募団体から3名まで。

(オ) 9時10分から委員会を開催、9時30分から応募団体及び傍聴者入場、9時35分プレゼンテーション開始。

イ 応募団体への質疑について

応募団体からの提出書類を踏まえ、当日の質疑の内容について、次のとおり審議を行った。

<審議概要>

委員長 委員が5人いますので、どの項目を質問するかというところです。財務や法人の状況につきましては、大西副委員長にお願いしたいと思っております。

副委員長 はい。

委員長 ここは自分が聞いてみたいという項目があったら、ぜひお願いしたいと思いますが、いかがですか。

委員 私は地域との関連について、実際どのように連携しているのかや、教育委員会とはどういう繋がりを持ってやるのかというところを聞いてみたいです。

委員長 わかりました、地域との関連の中でも、特に「7 障害児相談支援」の項目の、保健、医療、教育、との連携や具体的な移行について、國分委員にお願いします。

委員 応募団体の事業計画の中で、重症心身障害児への支援とありますが、重症心身障害児対応の発達支援センターは、地域で1つ以上設置しなければならなくて、あおぞら園は、鎌倉市として、その1つという位置付けですね。

事務局 はい。全ての障害種別を受けるという意味の一元化ですので、医療的ケアのあるお子さんも重症心身障害児のお子さんもお受けできる体制を整えるということで、今回評価項目に入れています。

委員 重症心身障害児の受け入れについて、現在はどうでしょうか。

事務局 今の指定管理者が運営している、令和7年度のあおぞら園では、医療的ケア児は数名受け入れています。

委員 受け入れているんですね。

事務局 はい。また、市内の他の事業者では、多機能型事業所LEOさんが重症心身障害児さんの受け入れはしていて、令和7年度はあおぞら園と情報共有はしていると聞いています。

委員長 もしよかったら、國分委員からそちらの項目をご質問いただいてはどうでしょうか。

委員 質問してみます。

委員長 ありがとうございます。この大きい項目の「4 利用者の特性に応じた支援の実施」の、特に重症心身障害のあるお子さんへの支援については國分委員にお願いします。

委員 はい。

委員長 初崎委員は、もしよろしければ、「5 中核的な機能の実施」から、地域の保育所等との交流に加えて、併行通園の実施体制、それと、相談窓口としての周知についてというところで、おそらく児童相談所さんも関わってくる部分もあると思うので、お願いできますか。

委員 はい。

委員長 堀之内委員は支援の現場にも近い立場ということもありますので、特に大きい項目の「4 利用者の特性に応じた支援の実施」の直接支援に関わるのところについて、伺ってもいいかなと思いますが、いかがですか。

委員 はい。わかりました。

委員長 私は、項目も加えていただいたので、かかわりの難しい利用児への支援について、質問させ

ていただいて、あと、職種連携もぜひ聞いてみたいと思います。それと人員体制のところ、専門職の配置について、私も大学の現場で、まさに PT、OT もいる大学でもありますので、確認させてもらってもよろしいですか。

各委員 はい。

委員長 質問する項目について、大まかに委員間共有させていただいたところになります。

他はいかがですか。20 分という短い時間の中で、質問をすることになるので、これから指定管理期間の 5 年間で有意義な期間にさせていただきたいということと、やはり、鎌倉市の設置しているあおぞら園ですので、市民の方たちの福祉に繋がるということが一番大事だと思うので、そこを目指していただきたいというところを強調しながら、質問できればいいと思います。

質問の順番につきましては、堀之内委員、國分委員、初崎委員、大西副委員長、私という順番に決めさせていただいてもよろしいですか。

各委員 はい。

委員長 ありがとうございます。

(5) 施設見学

事務局から、あおぞら園建物の施設、設備及び周辺環境について説明を行った。委員からは、老朽化は見られるものの、室内は明るい印象を受けた、等の所感が挙がった。

2 その他

事務局より次回の日程について

・第 3 回選定委員会

日時 7 月 17 日 (木)

9 時 10 分 開始

9 時 35 分 プレゼンテーション開始予定

場所 福祉センター 第一・二会議室